

# ゆめみにゅーす



## YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 39  
発行日 平成28年2月3日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種219点  
鳥類:26種111点  
爬虫類:11種52点  
(平成28年1月末日現在)

### ラマの赤ちゃんが生まれました。



平成27年11月30日、ラマのナンが出産しました！約1年前に夢見ヶ崎動物公園にやってきて、お披露目の日にさっそく交尾し、我々を期待させてくれていました。子どもはメスで、愛称はケイトに決まりました。生まれて1週間もたないうちに牧草を食べはじめ、体重もぐんぐん増えています。母親となったナンは、相変わらず飼育担当たちに胃内容物を吹きかける日々ですが、わが子に接する姿は立派で優しいお母さんで、子どもが離れそうになると一生懸命鳴いて心配そうにふるまいます。また、なぜか人間のわが子への接触に対しては寛容です。

きっとあっという間に大きくなってしまおうと思いますので、成長を楽しみに引き続き温かく見守ってくださいませ。

★当面は10～14時が親子、それ以外の時間が父タイタンの展示とさせていただきます。

### ✧職員往来✧

夢見ヶ崎動物公園開園以来、42年間飼育員を勤め上げた宇田司さんがこの3月で定年退職を迎えます。

「このたび3月末日をもちまして夢見ヶ崎動物公園を退職いたします。おかげさまで在職42年の間大過なく勤めることができ感無量でございます。初めて担当したのはコゲチャヤブワラビーやヤクシマヤギのいた小動物コーナーで、飼育系の第一歩が始まりました。

私生活においても結婚し、子宝にも恵まれ、先輩方には公私ともに大変お世話になりました。また、これからの夢見ヶ崎動物公園を託す後輩たちも順調に育っております。

長い間ほんとうにありがとうございました。」(宇田司)



### 第16回 春の動物園まつりのお知らせ

- ・日時：平成28年3月21日(月・祝) 10時～15時
  - ・動物リレーガイド、シマウマ・ヤギの餌やり体験、バックヤードツアー、コンサートコーナー、野鳥クイズコーナー、竹細工コーナー等
  - ・小雨決行
- 詳しくはホームページ・市政だより等もご覧ください。





# ★ピックアップ動物★

## ポリビアリスザル

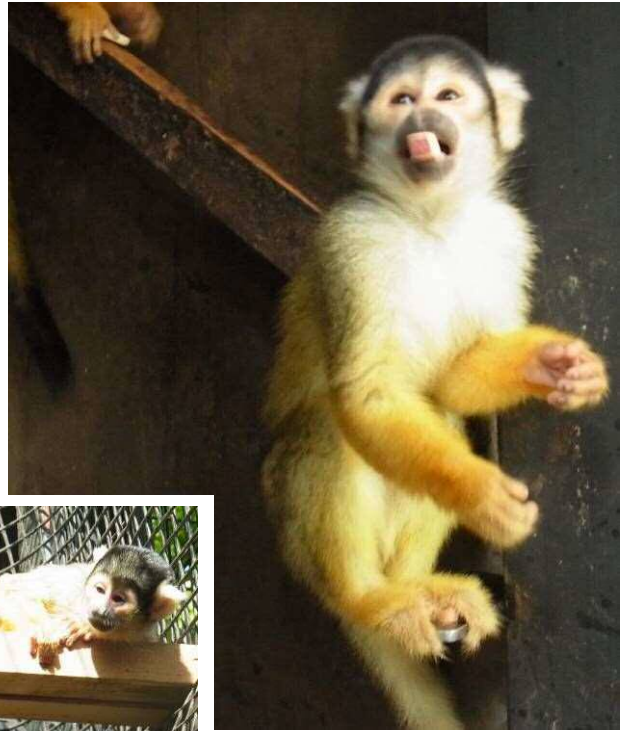
哺乳綱 霊長目 オマキザル科

中南米（ポリビア、コスタリカ他、アマゾン川流域）の森林に多く生息します。雑食で果物や木の実、昆虫や小動物、鳥の卵など何でも食べます。

野生では木の上で生活するため、手足の握力は体の大きさの割に強く、油断していると人間の握りこぶしをこじ開けてしまうこともあります。

好奇心も旺盛で、飼育担当の指にばんそうこうが巻かれていたりすると、わざわざ目立たない肌色タイプを使っているのにもかかわらず、目ざとく見つけてはがしにかかってくるのでたまりません。

また、飼育担当の髪の毛を引っ張ったり、頭の上からおしっこを引っ掛けてきたり、活弁に動き回りつつ好奇心が強いゆえのいたずらも多く見られる一方、寒さは苦手なので、曇って寒い日などは、身を寄せ合っていて奥でおとなしくヒーターにあたっているのが見えるかもしれません。



## 獣医の日記

お正月だからと言って動物が餌はいらぬ、うちもしない、ということはありません。よって、動物園にお正月休みは存在しません。それでも、心のどこかでは年末年始くらい何事もなく、平和に終わってほしいなあ…など思いながら仕事をします。

2015年の大晦日、夕方まで何もなく、無事に年が越せる…と置いていたところ、動物たちの収容も終わる頃になって「ブラウンキツネザルが喧嘩したようだ」と連絡が入りました。急いで行ってみると、♂の2頭が顔から血を流しています。すぐに保定して診察した結果、うち1頭は縫わなくてはならないほどの傷でした。かくして、文句を言いながら大晦日の夜に手術をすることになったのでした。

動物園は人間の都合で動物を自然からヒトの世界に閉じ込めているところでもあります。ヒトは彼らに色々なことを学ばせてもらうのだから、それこそヒトの都合で不都合な暮らしをさせてはいけぬと思っています。それゆえに、カレンダーなど彼らの生活にとってはなんの影響ももたらしてはいけぬ存在であり、そもそもけがも病気も関係なく起こすのは生き物として当然なのだ…と改めて思った夜でした。



### ★動物たちの主な移動(平成27年11月1日~平成28年1月31日)★

ラマ(♀1繁殖)、ワタボウシパンシエ(♀1死亡)、フンボルトペンギン(♂1死亡)、マーコール(♂1死亡)